

燃やすごみ 20%減量のお願い

昨年に発生した福増クリーンセンター第二工場の火災の影響により、皆様にはごみの減量に向けてご協力をお願いしているところです。

第二工場が復旧するまでは、第一工場だけで処理する必要があります。しかしながら、第一工場だけで処理するには限界があり、近隣自治体等の施設へ処理をお願いしなければならない状況です。*

今後も第二工場の早期復旧に努めますが、皆様には引き続き燃やすごみの減量にご協力をお願いいたします。

*平成 27 年度に依頼した燃やすごみの量は約 3,300 トンで約 8,600 万円の経費が掛かりました。

◆燃やすごみ減量化への取り組み

1. 資源の分別

※燃やすごみの中に約2割の資源物が混入しています。

- 新聞、雑誌、段ボール、紙パック、布類、ペットボトルは資源物の日に、ごみステーションに出すか、地域の集団回収へ出してください。

2. 生ごみの減量

- 食材は使い切る、料理は食べ切る。
- 生ごみの水切り、堆肥化をする。

詳しい方法については、裏面をご参照ください。

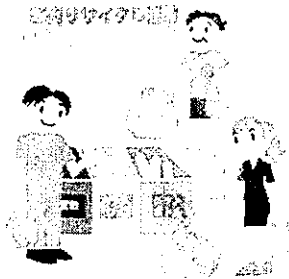
【問合せ先】

市原市役所環境部クリーン推進課

☎ 0 4 3 6 - 2 3 - 9 0 5 3

1. 資源物を分けよう

市の資源物収集日（週1回）や地域の集団回収の日に、資源を分別して出しましょう。



市の回収品目

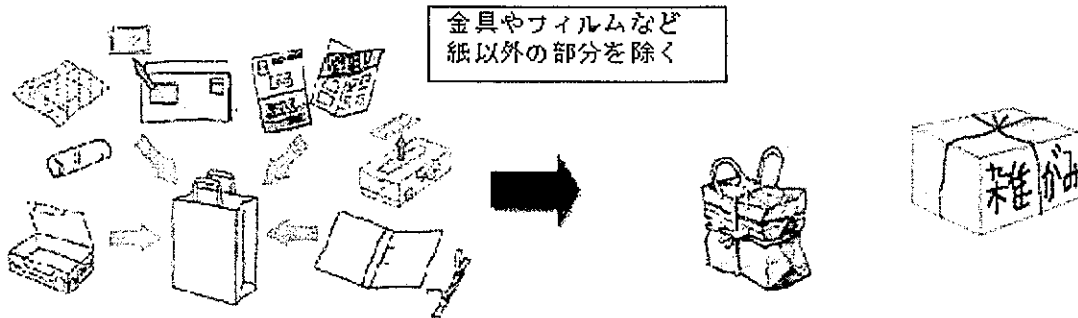
- 紙類(新聞、雑誌、段ボール、紙パック、雑がみ)
- 布類(まだ着られる洋服)
- びん、缶
- ペットボトル

雑がみって
なに？

雑がみとは、

新聞、雑誌、段ボール、紙パック以外で、リサイクルできる紙資源のことです。(例：はがき、カレンダー、紙箱、カタログなど)

燃やすごみの中には、分ければ貴重な資源となる雑がみがまだまだ混ざっています。雑がみを分別すると、ごみ箱の中がすっきり！今日から早速分別してみましょう。



金具やフィルムなど
紙以外の部分を除く

雑がみの例…チラシ、はがき、カレンダー、カタログ、パンフレット、紙箱、メモ用紙など

紙袋か段ボールに入れて紐で縛り、「雑がみ」と書く

2. 生ごみを減らそう

食材を使い切る 料理は食べ切る	捨てる前に、水分を切る	生ごみの堆肥化に取り組む
必要な分だけ買って作って、 残さず食べればごみ減量！	生ごみの約80%は水分です。 捨てる前に、ぎゅっとひと絞り	市が生ごみ肥料化容器購入費の補助を行っています。 できた肥料は家庭菜園などに大活躍！